



数ある人気職種の中でも、とりわけ狭き門だと言われる、テレビ局のアナウンサー。この春から岐阜放送で活躍中の高相アナウンサーをお訪ねして、この仕事にける思いについて語っていただきました。

“あこがれ”が将来の夢に

小さい頃からスポーツが好きで、小学生のとき体操の県大会で優勝したこともあります。スポーツはそれからも続けていきましたが、その一方で、中学生のときに聴き始めた深夜ラジオがきっかけで、この仕事にあこがれをもつようになりました。高校時代の先生から、アナウンサーの草野満代さんが同じ高校の卒業生だという話を聞いて、もしかしらわたしにもやれるかもしれない、という夢をもつようになったのです。



チャレンジをくりかえして

大学を出るときいくつかの放送局を受けましたが、不合格ばかりで落ち込みました。でも、あきらめずに次を探しているうち、あるケーブルテレビへの採用が決まり、はじめの一步を踏み出すことができました。やりがいのある仕事でしたが、アナウンサーとして自立したいという思いから、2年半で退社し、もう一度専門的な勉強をやり直しました。その後、NHK松山、NHK長野でアナウンサーとしていろいろな経験を積み、今年から、正式に岐阜放送の社員として採用されました。いつも、自分からチャンスを探してはチャレンジするという繰り返しです。

「アンカーマン」をやりきる

取材を通していろいろな人と出会えることが、この仕事の大きな魅力です。伝えたいことをうまく伝えることができ、取材した方からよい反応が返ってきたときは喜びもひとしおです。反対に、思いと違う伝わり方をしてしまい、へこむこともあります。

アナウンサーの仕事は「アンカーマン」とも呼ばれています。大勢のスタッフで練り上げてきた番組を、最後に放送にのせる「アンカー」という意味です。自分次第で、みんなの努力が台無しになってしまうこともあるので、本番前にはとても緊張します。おこられて、泣きそうな思いでカメラの前に立つこともあります。すぐに気持ちを切り換えるようにしています。テレビの仕事は華やかに思われがちですが、見えない苦労の方がずっと多いと実感しています。

これからの夢

岐阜市に住んでまだ間もないのですが、近所の方が気軽に話しかけてくださるなど、受け入れてもらえているという安心感を感じています。たくさん知っている人が番組を視聴してくださっているので、それを励みに、岐阜の魅力をいっぱい紹介しながら、多くの皆様に「よかったよ」と言ってもらえるような番組を作っていきたいと思っています。

高相さんから みんなへのメッセージ

うまく行かないことが続いても、あきらめなくて。夢をもって、あきらめずに追い求めていけば、きっと道が開けます！



高相さんのサイン入り下じき (GBS特製) をプレゼントします。くわしくは裏面をごらんください。



高相祐子 プロフィール

中津川市生まれ 岐阜市在住
地元の小中学校から恵那高校を経て、愛知淑徳大学へ。大学卒業後、春日井小牧コミュニケーションテレビを振り出しに放送の仕事始める。以後、NHK松山、NHK長野を経て、2007年に岐阜放送に入社。現在、「夕がた屋テ!」(毎週月～金曜日 17時20分より)などの番組を担当。

「挫折ばかりしてるんです」と照れ笑う高相さん。そのさわやかな笑顔の中に、いっぱいの夢と力が詰まっているように感じました。